

平成25年度補正予算 配分箇所の具体事例(高規格関係)

箇所名	事業概要	補正予算投入効果
物流ネットワークの強化		
一般国道468号 首都圏中央連絡自動車道 (五霞～つくば)	配分額8,500百万円 事業延長39.6km	補正予算の充当により、境地区・坂東弓田地区等の改良工事等を推進することで、平成27年度の開通に向けて、都市への交通の適切な分散導入による交通の円滑化及び物流の効率化を図る。
一般国道475号 東海環状自動車道 (北勢～四日市)	配分額610百万円 事業延長14.4km	補正予算の充当により、東員地区の橋梁床版工事、改良工事等を推進することで、平成27年度の開通を確実にし、都市への交通の適切な分散導入による交通の円滑化及び物流の効率化等を図る。
代替性確保ネットワークの整備		
一般国道470号 能越自動車道 七尾氷見道路	配分額4,000百万円 事業延長28.1km	補正予算の充当により、千野～矢田地区及び大泊～中波地区の改良工事等を推進することで、平成26年度の開通を確実にし、並行する国道160号の事前通行規制区間(連続雨量140～160mm)を回避することにより、道路寸断に対する代替性確保ネットワークの構築を図る。
一般国道55号 高知東部自動車道 高知南国道路	配分額1,090百万円 事業延長15.0km	補正予算の充当により、唐谷～伊達野地区の舗装工事を推進することで、高知南IC～高知東IC間の平成26年度の開通を確実にし、並行する国道55号における南海トラフ巨大地震発生時の津波浸水想定区域を回避することにより、道路寸断に対する代替性確保ネットワークの構築を図る。
ゼロ国債		
一般国道236号 帯広・広尾自動車道 中札内大樹道路	配分額5,425百万円 事業延長23.2km	補正予算(ゼロ国債)の充当により、次年度に発注予定であった更別、幕別地区における改良工事、舗装工事の早期発注が可能となり、冬期を避けた施工を行うことで、平成26年度の開通に向け着実に事業推進を図る。